



吹田市議会議員

## 政策マニフェスト全項目(3)

政策リーフレットに紙面の制限で載せきれなかった全項目を發表します。

**4つの約束**を掲げています。4回に分けてお届けしますのでご覧ください！

※ いけぶち佐知子『政策リーフレット』(WEBでも閲覧可能)



## みえる、まもる、ささえる、つくる

- 市政が見える
- いのちを守る
- ひとを支える
- まちをつくる

### 約束

### ひとを支える

### 人が育ち、誰もが活躍できる社会



未来を担う大切な子どもの育ちと学びを保障し、女性や障がい者が働きやすい環境づくりをサポートします。高齢者の介護や見守りにも予算を使い、人に投資するやさしい社会をつくりまします

### 子育て支援

#### ● 子ども医療費助成 18歳まで拡大をめざします

市内の子どもが病気になったとき医療費を助成する制度があります。

現在は、中学校終了までの期間の助成で、年間約4.4万人が利用しています。

今や全国の市区町村の1/3が18歳まで無料化しています。子ども医療費の助成の対象年齢を18歳とすることをめざします。

#### ● 学校給食費を公会計化し、透明化します

現在、小学校の学校給食費は私会計となっており、年間9億円を超す規模でありながら監査対象にも議会の議決対象にもなっていません。透明な市政運営のために、公会計にすることを求めます。

#### 【全国の現状】

文科省が2018年7月27日発表した学校給食費の徴収に関する調査結果では、給食費を公会計化した学校が2016年度は39.7%でした。

給食費の徴収・管理は学校の働き方改革で「学校以外が担うべき業務」と位置付けられており、文部科学省では自治体による公会計化を促す方針を示しています。

#### ● 親子健康手帳アプリを活用します

切れ目のない子育て支援のため、親子健康手帳アプリを活用し、健診や予防接種の情報、記録、サポート予定がわかるようにすることを提案します。

【先進事例】 ※母子健康手帳アプリを導入している自治体

町田市、金沢市、芦屋市/柏市、横須賀市、高松市/富山市(父子手帳もあり)



## 女性の活躍

## ● 児童館・センターを活用します

保育園などの一時保育事業がありますが、常に満杯状態であり、児童センターでの一時保育を拡大しようとしています。個人的に子どもを預けたり預かったりするファミリーサポート事業がありますが、預かる場所は、援助会員あるいは依頼会員のいずれかの自宅となっています。預かり場所を児童館・センターにすることで、援助会員一人で保育することによるリスクを軽減と緊急時のフォローができ、安心感が増します。

【吹田市の現状】 ※子育て支援事業の認知度・利用度

児童館・センターを利用したことがある人	62.7%
児童館・センターを利用したいと思う人	71.3%

※データ:吹田市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査業務報告書(2014年3月)

## ● 市役所内に一時託児スペースを設置します

議会では本会議質問時、傍聴者の子どもの一時保育を実施しています。市役所に小さな子どもを連れて手続きに来られた市民にとって、手続き中子どもを預かってくれるスペースがあれば、市民も子どもも安心です。

市役所への保育ルームの設置と保育士の配置を提案します。

また、子どもを預けることができれば、子育て中の市民も審議会等の委員になることができます。



## 高齢者福祉

## ● 公民館を地域包括ケアのアウトリーチ(出張相談)に活用します

地域包括支援センターが市内15か所に増えましたが、まだお住まいから遠くに行かなければならない地域もあります。公民館や高齢者いきいの間などを活用し、地域包括支援センターの出張相談の開催を提案します。

## ● 認知症の人を地域で見守る取り組みを全市に広げます

認知症の人を地域で見守るために、地域での認知症サポーター養成講座の実施とともに、地域全体で見守り活動の実践訓練が効果的です。これまで市内6か所で開催されました。今後も、小学校区単位で順次開催することを求めます。

## ● 空きスペースを利活用したみんなの居場所を作ります

子どもたち、子育て中の方、高齢の方、認知症の方、様々な方々の集まる場所があります。世代が混在、融合しているのが地域です。空き家、空き室、公共施設の空きスペースなどを活用し、みんなの居場所を作ります。



【吹田市の現状】 ※市民団体や民間事業者が設置している主なもの(2018年6月現在)

- ・子育て広場(乳幼児と保護者が気軽に集まり、交流ができる場所)8か所
- ・ふれあい交流サロン(高齢者から乳幼児までの市民が、気軽に利用できる世代間交流の場)6か所
- ・認知症カフェ(認知症の人やその家族、医療や介護の専門職、地域の人などが気軽に参加し、交流や相談等をするのできる「集いの場」)22か所

★「いけぶち佐知子通信～未来にまっすぐ～」はマニフェスト全項目を4回に分載します★

## ■ いけぶち佐知子のプロフィール

子育て、環境、福祉、まちづくりの市民活動にかかわる「女性を議会に！無党派・市民派ネットワーク」運営スタッフ  
百条委員会委員(2012～2013年度)  
吹田市監査委員(2013年度)

1957年/和歌山県生まれ  
1979年/大阪大学薬学部卒業し、薬剤師免許取得  
1999年/市民のための政治を求め立候補し、初当選  
2015年～吹田市議会議員(5期目)  
2016年/吹田女性議員の会提案により、議会傍聴時の保育を実現  
2017年/議会広報委員として『市議会NAVI』を作成

